

# 第287回柏崎地域早期景気観測調査 報告書

— 令和5年10月期 —

## 【インデックス】

- 1 全産業(P.2)
- 2 建設業(P.3)
- 3 製造業(P.4)
- 4 卸売業(P.5)
- 5 小売業(P.6)
- 6 サービス業(P.7)

### 【調査方法】

会員企業1社に対して、毎月下旬に【業況】【売上】【採算】【資金繰り】【仕入単価】【従業員】【資金借入難易感】の7項目について「前年同月比」(※従業員D Iについては今期水準)および「向こう3ヵ月の先行き見通し」の調査を依頼、翌月上旬までに寄せられた回答を集計し、その結果をD I値で表します。

D I値は、実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを含みます。

### 【D I値とは】

D I値(景況判断指数)とは、「増加・好転」などの回答割合から「減少・悪化」などの回答割合を引いたもので、景況感の方向、強弱を示します。

【業況】…「好転」-「悪化」	【売上】…「増加」-「減少」
【採算】…「好転」-「悪化」	【資金繰り】…「好転」-「悪化」
【仕入単価】…「下落」-「上昇」	【従業員】…「不足」-「過剰」
【資金借入難易感】…「容易」-「困難」	

### 【調査対象業種】

建設業	総合工事業、設備工事業、職別工事業
製造業	鉄鋼・金属製品・機械器具製造業、食料品・印刷・窯業・土石製品製造業
卸売業	建材・鉱物・機械器具卸売業、飲食料品・衣服等卸売業
小売業	飲食料品小売業、衣料・身の回り品・その他小売業
サービス業	宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業

### 【調査対象数・回答状況】

業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
調査対象数	39	45	27	26	35	172
回答数	22	31	14	13	23	103
回答率(%)	56.4%	68.9%	51.9%	50.0%	65.7%	59.9%

### <移動平均分析>

時系列データを見た場合、データの変化が激しく、基本的な変化の傾向がつかみにくいことがあります。移動平均という方法を用いることにより、データ全体の変化の傾向を解析することができます。

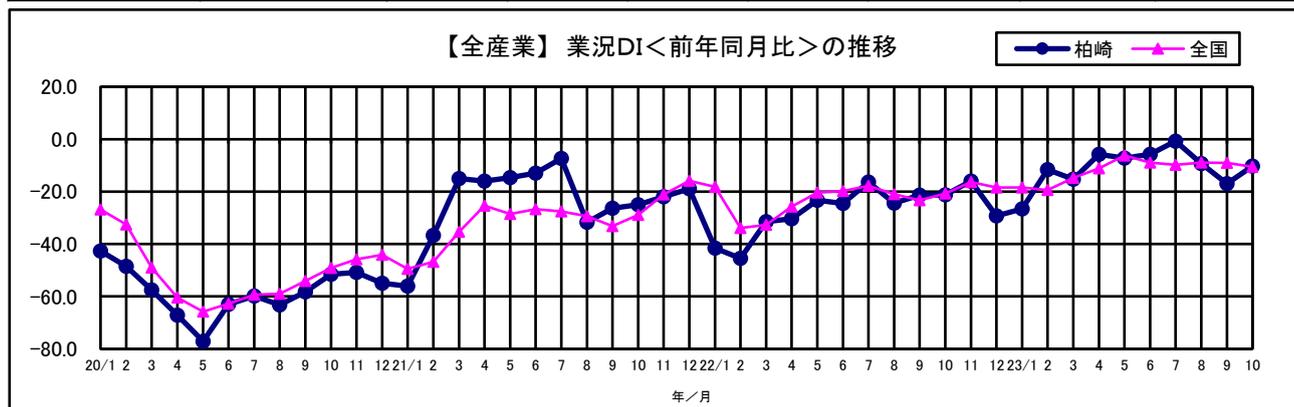
ここでは、業況・売上・採算の三項目について、当該月を含めて過去6ヶ月分の平均値を連続的に求め、グラフ化しています。



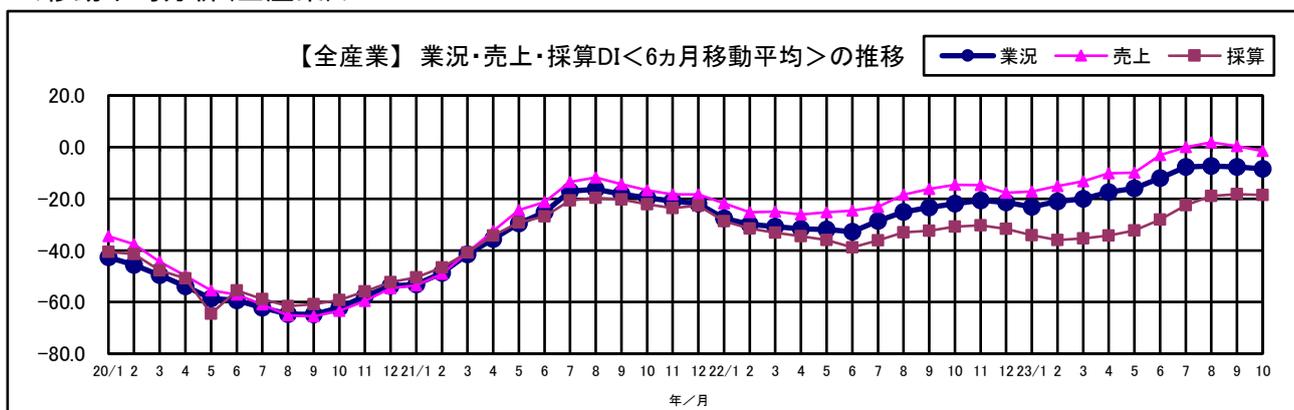
# 柏崎商工会議所

## ◆概況(全産業合計)

項目		23年5月	23年6月	23年7月	23年8月	23年9月	23年10月	先行き見通し 11月～1月
業況	柏崎	▲7.2	▲5.7	▲0.7	▲9.3	▲17.0	▲10.3	▲7.6
	全国	▲6.2	▲8.9	▲9.8	▲8.9	▲9.0	▲10.5	▲14.6
売上	柏崎	▲10.1	9.7	5.3	3.0	▲9.5	▲7.6	▲12.7
	全国	5.7	4.0	4.0	7.3	4.9	4.5	▲2.0
採算	柏崎	▲19.9	▲19.6	▲12.1	▲20.7	▲22.4	▲16.4	▲17.7
	全国	▲12.3	▲14.1	▲14.2	▲12.7	▲13.3	▲12.7	▲14.2
資金繰り	柏崎	▲7.1	▲6.0	▲2.1	▲10.5	▲9.9	▲10.4	▲11.3
	全国	▲10.6	▲12.3	▲11.8	▲11.6	▲11.8	▲12.0	▲12.5
仕入単価	柏崎	▲67.5	▲63.6	▲64.2	▲70.4	▲73.6	▲63.8	▲49.9
	全国	▲70.4	▲69.4	▲67.1	▲69.5	▲69.6	▲67.4	▲57.1
従業員	柏崎	▲21.7	18.1	23.7	25.0	17.6	17.7	16.6
	全国							24.3
資金借入難易感	柏崎	0.3	0.6	▲0.1	▲3.7	▲1.0	▲3.8	▲5.7



### <移動平均分析(全産業)>



### 【10月期全国全産業の動向】

#### ●全産業合計の業況DIは、▲10.5(前月比▲1.5ポイント)

・小売業は、物価高で買い控えが続く中、人手不足に伴う人件費の増加等で悪化した。サービス業は、物価高による生活関連サービスの需要停滞で横ばい圏内で留まり、卸売業は、小売・サービス業からの引き合い減少でほぼ横ばいとなった。製造業は、自動車関連が好調な一方、エネルギー価格の高騰によるコスト増が全体を押し下げ、建設業は、公共工事の受注増で改善を示すも力強さを欠いている。

・エネルギー価格の高騰や最低賃金の上昇等でコスト増が継続する中、これに見合った十分な価格転嫁が行えていない。また、深刻な人手不足に加え、インボイス制度等の諸課題への対応も重なり、中小企業の業況は悪化に転じた。

#### ●先行き見通しDIは、▲14.6(今月比▲4.1ポイント)

・インバウンドを含む観光需要拡大への期待感が伺える一方、長引く物価高による一層の買い控えが懸念される。また、最低賃金を含む人件費の増加や円安の伸長等で収益圧迫が続く中、中東情勢の緊迫でさらなるコスト増が危惧される。

・十分な価格転嫁も行えていない中、働き方改革を含む深刻な人手不足への対応など企業経営の足かせは多く、中小企業の先行きは厳しい状況が続く。

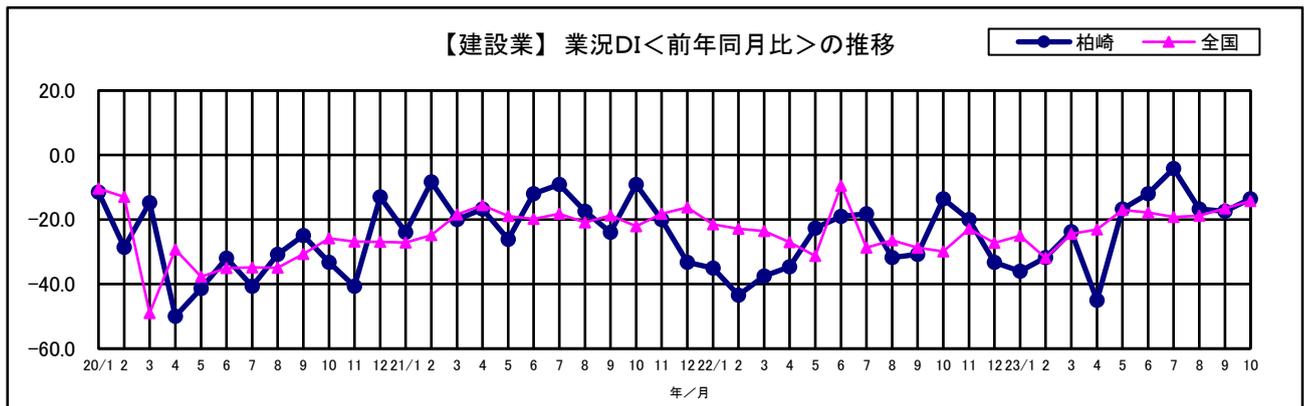
### 【10月期柏崎全産業の動向】

業況DIは6.7ポイントマイナス幅が縮小し、やや改善。先行き見通しでも▲7.6とマイナス域ながら回復傾向にある。また10月より最低賃金の上昇やインボイス制度の対応等が懸念されたが、採算DIでもマイナス幅の縮小がみられた。

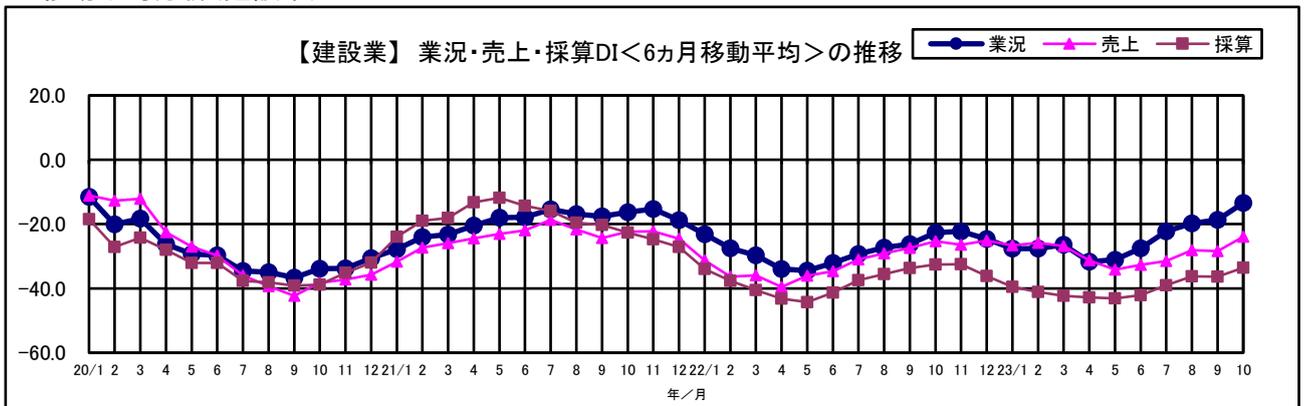
仕入単価DIで「製造業」をはじめとし、一部仕入価格の値下がりがあったとの声もあり、前月期からマイナス幅の縮小がみられたことも業況DIの改善に繋がる一因となった。

# 【建設業】

項目		23年5月	23年6月	23年7月	23年8月	23年9月	23年10月	先行き見通し 11月～1月
業況	柏崎	▲ 16.7	▲ 12.0	▲ 4.2	▲ 16.7	▲ 17.4	▲ 13.6	▲ 22.7
	全国	▲ 17.0	▲ 17.8	▲ 19.2	▲ 18.8	▲ 16.5	▲ 14.3	▲ 13.1
売上	柏崎	▲ 33.3	▲ 16.0	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 30.4	▲ 18.2	▲ 22.7
	全国	▲ 13.6	▲ 15.6	▲ 14.4	▲ 7.0	▲ 5.7	▲ 6.7	▲ 4.8
採算	柏崎	▲ 37.5	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 39.1	▲ 18.2	▲ 36.4
	全国	▲ 26.0	▲ 22.2	▲ 26.6	▲ 21.3	▲ 24.1	▲ 19.7	▲ 13.4
資金繰り	柏崎	▲ 12.5	▲ 12.0	▲ 4.2	▲ 12.5	▲ 17.4	0.0	▲ 13.6
	全国	▲ 8.0	▲ 8.8	▲ 6.7	▲ 7.6	▲ 8.6	▲ 6.4	▲ 7.0
仕入単価	柏崎	▲ 66.7	▲ 60.0	▲ 58.3	▲ 62.5	▲ 56.5	▲ 40.9	▲ 36.4
	全国	▲ 76.8	▲ 74.1	▲ 75.0	▲ 74.8	▲ 73.3	▲ 72.9	▲ 60.8
従業員	柏崎	33.3	32.0	37.5	41.7	47.8	45.5	45.5
	全国							36.3
資金借入難易感	柏崎	▲ 4.2	0.0	▲ 4.2	▲ 8.3	▲ 4.3	4.5	▲ 4.5



## <移動平均分析(建設業)>



## 【全国建設業の動向】

建設資材価格の高止まりやエネルギー価格の高騰によるコスト増に加え、技術者等の深刻な人手不足は継続しているものの、国土強靱化事業等により受注が堅調に推移する公共工事がけん引し、改善。

### <日本商工会議所に寄せられた声>

- ・「仕入価格の上昇分についての価格転嫁に向けた取引先と協議を行っているが、人件費や電気代等の高騰分の交渉は厳しい状況である。加えて、競合他社において値上げの提示を行っていないケースも多く、業界全体での価格転嫁に向けた機運醸成を期待する」(一般工事業)
- ・「工事案件は増加しているものの、指定工期が短く、人手不足で対応ができず、受注できないケースも出てきている」(建築工事業)

## 【柏崎建設業の動向】

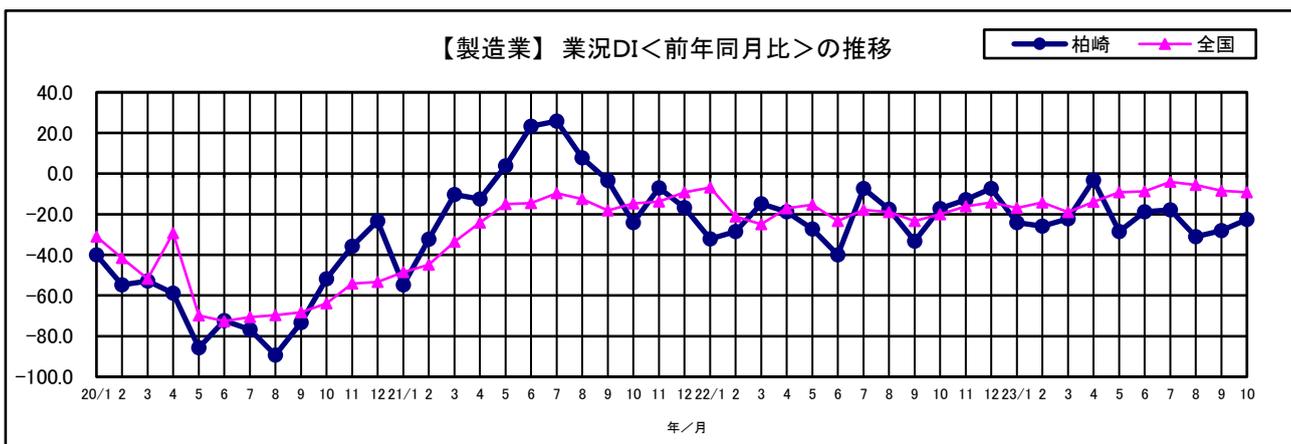
各指標ともマイナス域ながら改善。特に採算・資金繰り・仕入単価DIでマイナス幅の縮小がみられた。総じてトレンド・方向性を示す移動平均分析を見ても右肩上がりに推移していることが分かる。一方で従業員の人手不足は依然として課題となる数値結果となった。

### <柏崎商工会議所に寄せられた声>

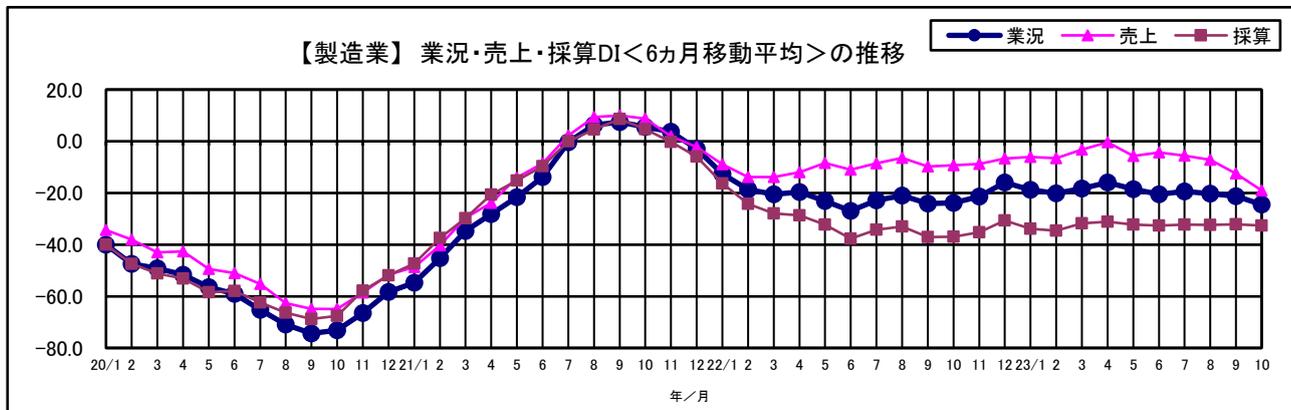
- ・資材価格は高止まりしてはいるが、一時期と比べるとやや落ち着いた。

# 【製造業】

項目		23年5月	23年6月	23年7月	23年8月	23年9月	23年10月	先行き見通し 11月~1月
業況	柏崎	▲ 28.6	▲ 18.8	▲ 17.9	▲ 31.0	▲ 28.0	▲ 22.6	▲ 12.9
	全国	▲ 9.2	▲ 8.8	▲ 4.1	▲ 5.6	▲ 8.5	▲ 9.3	▲ 14.8
売上	柏崎	▲ 28.6	▲ 3.1	▲ 7.1	▲ 20.7	▲ 32.0	▲ 22.6	▲ 9.7
	全国	9.9	13.3	9.2	9.4	5.7	7.1	▲ 2.2
採算	柏崎	▲ 35.7	▲ 28.1	▲ 39.3	▲ 37.9	▲ 32.0	▲ 22.6	▲ 16.1
	全国	▲ 14.2	▲ 14.0	▲ 12.1	▲ 12.0	▲ 12.5	▲ 9.3	▲ 12.6
資金繰り	柏崎	▲ 14.3	▲ 3.1	▲ 7.1	▲ 13.8	▲ 12.0	▲ 9.7	0.0
	全国	▲ 13.1	▲ 13.3	▲ 13.6	▲ 12.6	▲ 13.3	▲ 11.8	▲ 12.8
仕入単価	柏崎	▲ 71.4	▲ 65.6	▲ 67.9	▲ 79.3	▲ 84.0	▲ 64.5	▲ 41.9
	全国	▲ 73.3	▲ 69.6	▲ 68.4	▲ 67.6	▲ 66.3	▲ 64.1	▲ 49.1
従業員	柏崎	10.7	12.5	17.9	10.3	12.0	0.0	6.5
	全国							15.6
資金借入難易感	柏崎	3.6	3.1	3.6	3.4	8.0	0.0	3.2



## <移動平均分析(製造業)>



## 【全国製造業の動向】

挽回生産が続く自動車関連の生産・出荷は好調な一方、世界経済の鈍化に伴い電子部品関連の需要が低迷する他、エネルギー価格の高騰や円安による輸入部材の高騰等に伴うコスト増が全体を下押し、ほぼ横ばい。

### <日本商工会議所に寄せられた声>

- ・「部品の供給制約の緩和で、受注は増加傾向。年度初めは原材料・エネルギー価格の高騰や労務費上昇が収益を圧迫し、かなり苦しい状況だったが、パートナーシップ構築宣言もあり、価格転嫁が進捗してきている」(輸送用機械器具製造業)
- ・「半導体関連の需要の低下が著しく、向こう1年程度はこの状況が継続するとみている。売上の確保に向けた対策を検討する必要がある」(電子部品製造業)

## 【柏崎製造業の動向】

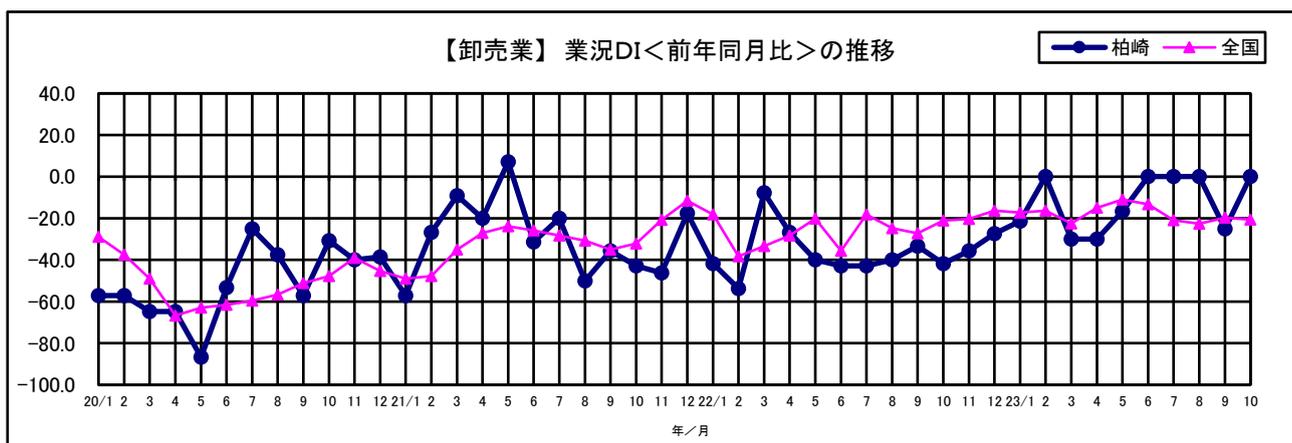
一部の仕入価格が下がったとの声があるように、仕入単価DIは低水準ながらも前月期から19.5ポイントのマイナス幅の縮小がみられた。仕入単価DIは先行き見通しでも回復傾向にあり、特に「機械製造」で先行き見通しは「適正」の回答が7割超となったことから回復傾向にある。それに併せ、各指標もマイナス幅の縮小が見込まれる。

### <柏崎商工会議所に寄せられた声>

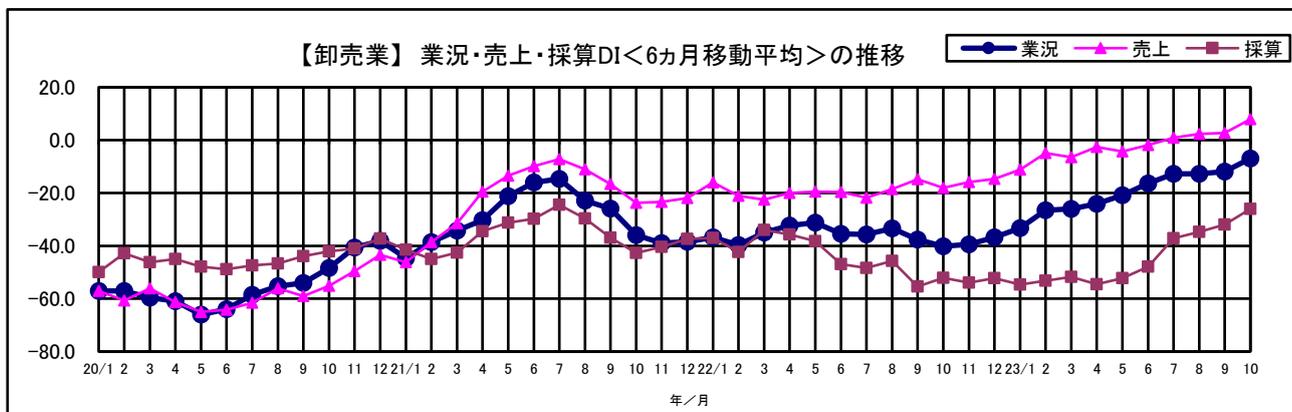
- ・仕入価格は下がったものも有るが、消耗品や燃料費、電気代等が上がっている分、原価自体に変動はほぼない。
- ・電力単価は燃費費が低減傾向にあり、生産減少に伴う一部設備の完全停止等により電力費は大きく低減。材料関係も右上がり傾向が治まり(一部値下がりもあり)横ばい高止まり傾向。よって売上高は前年同月比並みだが収益は改善傾向。この状態が継続するかは不透明。

# 【卸売業】

項目		23年5月	23年6月	23年7月	23年8月	23年9月	23年10月	先行き見通し 11月~1月
業況	柏崎	▲ 16.7	0.0	0.0	0.0	▲ 25.0	0.0	▲ 7.1
	全国	▲ 11.0	▲ 13.2	▲ 20.9	▲ 22.6	▲ 19.7	▲ 20.6	▲ 20.2
売上	柏崎	▲ 16.7	14.3	16.7	20.0	▲ 8.3	21.4	0.0
	全国	5.5	1.6	0.0	▲ 0.9	▲ 2.6	▲ 5.9	▲ 5.9
採算	柏崎	▲ 50.0	▲ 28.6	0.0	▲ 30.0	▲ 33.3	▲ 14.3	▲ 14.3
	全国	▲ 13.1	▲ 14.8	▲ 17.0	▲ 17.4	▲ 15.9	▲ 12.6	▲ 12.2
資金繰り	柏崎	▲ 16.7	▲ 7.1	0.0	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 14.3
	全国	▲ 11.4	▲ 9.5	▲ 9.6	▲ 11.5	▲ 8.6	▲ 7.6	▲ 8.4
仕入単価	柏崎	▲ 66.7	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 57.1	▲ 28.6
	全国	▲ 67.1	▲ 67.1	▲ 57.4	▲ 59.6	▲ 68.2	▲ 64.7	▲ 53.4
従業員	柏崎	25.0	7.1	25.0	20.0	16.7	14.3	14.3
	全国							16.4
資金借入難易感	柏崎	0.0	▲ 14.3	8.3	10.0	▲ 8.3	▲ 7.1	▲ 7.1



## <移動平均分析(卸売業)>



## 【全国卸売業の動向】

公共工事の受注増に伴う建設関連商品の需要は堅調なもの、消費者の買い控えや生活関連サービスの需要停滞により、日用品等を始めとする小売・サービス業からの引き合い減少で、ほぼ横ばい。

### <日本商工会議所に寄せられた声>

- ・「中国経済の減速等で海外取引が減少する中、中東情勢の緊迫化も重なり、今後の一層のコスト増による収益圧迫が懸念される」(一般機械器具卸売業)
- ・「取引先の飲食店に対して、価格協議を行ったものの、先方からは長引く物価高で消費者の買い控えが深刻な中、さらに販売価格を上げると一層の顧客離れにつながってしまうため、据え置きを希望されており、交渉が難航している」(食料・飲料卸売業)

## 【柏崎卸売業の動向】

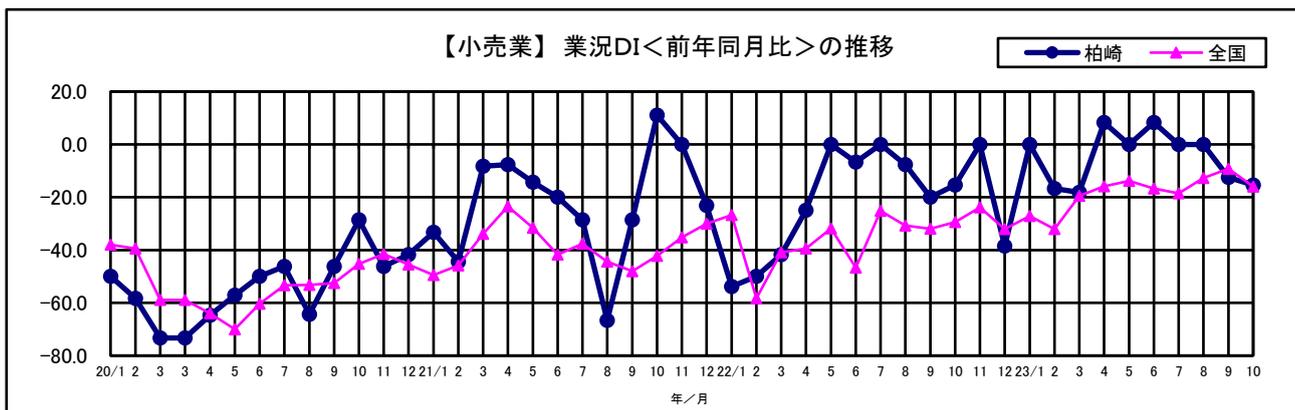
各指標で数値の回復がみられた。中でも新型コロナウイルスの5類移行に伴い、各所でのイベント等への参加が増えたといった声もあり、売上DIはマイナス域からプラス域に好転した。

### <柏崎商工会議所に寄せられた声>

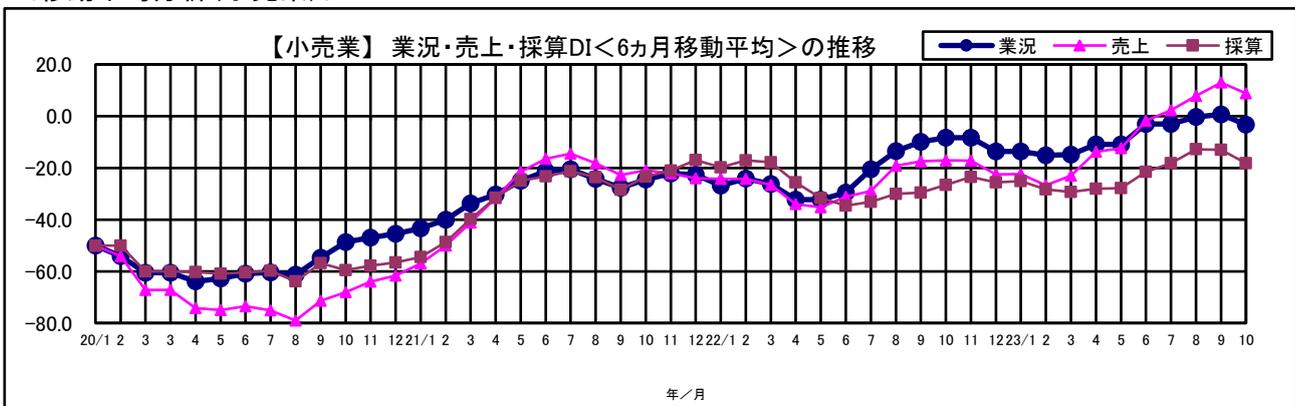
- ・イベント、行事への物産品販売の参加が例年の10月期に比べやや多かった為、売上増加。
- ・今後の物流問題は通信販売において多少の懸念点である。

# 【小売業】

項目		23年5月	23年6月	23年7月	23年8月	23年9月	23年10月	先行き見通し 11月~1月
業況	柏崎	0.0	8.3	0.0	0.0	▲12.5	▲15.4	0.0
	全国	▲13.8	▲16.7	▲18.5	▲12.7	▲9.2	▲16.0	▲19.2
売上	柏崎	0.0	25.0	15.4	0.0	12.5	0.0	▲7.7
	全国	▲3.8	▲4.9	▲1.7	4.7	1.7	1.0	▲4.9
採算	柏崎	▲15.4	▲8.3	▲7.7	▲9.1	▲37.5	▲30.8	▲23.1
	全国	▲16.4	▲17.6	▲17.0	▲15.4	▲15.7	▲14.8	▲18.0
資金繰り	柏崎	▲7.7	▲16.7	▲15.4	▲18.2	▲25.0	▲30.8	▲30.8
	全国	▲14.3	▲18.4	▲18.5	▲16.9	▲16.7	▲20.7	▲17.5
仕入単価	柏崎	▲61.5	▲41.7	▲61.5	▲54.5	▲62.5	▲69.2	▲69.2
	全国	▲68.4	▲71.3	▲69.7	▲74.5	▲73.9	▲70.7	▲64.0
従業員	柏崎	30.8	33.3	38.5	54.5	25.0	23.1	23.1
	全国							21.9
資金借入難易感	柏崎	▲7.7	0.0	▲15.4	▲18.2	▲25.0	▲23.1	▲23.1



## <移動平均分析(小売業)>



## 【全国小売業の動向】

長引く物価高による消費者の買い控えに加え、人手不足に伴う人件費やエネルギー価格の高騰によるコスト増で、悪化。事業者からは、買い控えが続く中、労務費やエネルギー費の上昇分までの価格転嫁は難しいといった声も聞かれた。

### <日本商工会議所に寄せられた声>

- ・「催事やイベントはコロナ前と同等程度に回復しており、明るい兆しはあるものの、長引く物価高で地元の消費者の買い控えが継続しており、売上が伸び悩んでいる。加えて、インボイス制度への対応に伴う事務作業の増加で、人件費が増え、収益を圧迫している」(総合スーパー)
- ・「BtoB、BtoC双方の事業を行っているが、企業向けの価格転嫁よりも、買い控えが続いている消費者向けの価格設定に苦慮している」(菓子・パン小売業)

## 【柏崎小売業の動向】

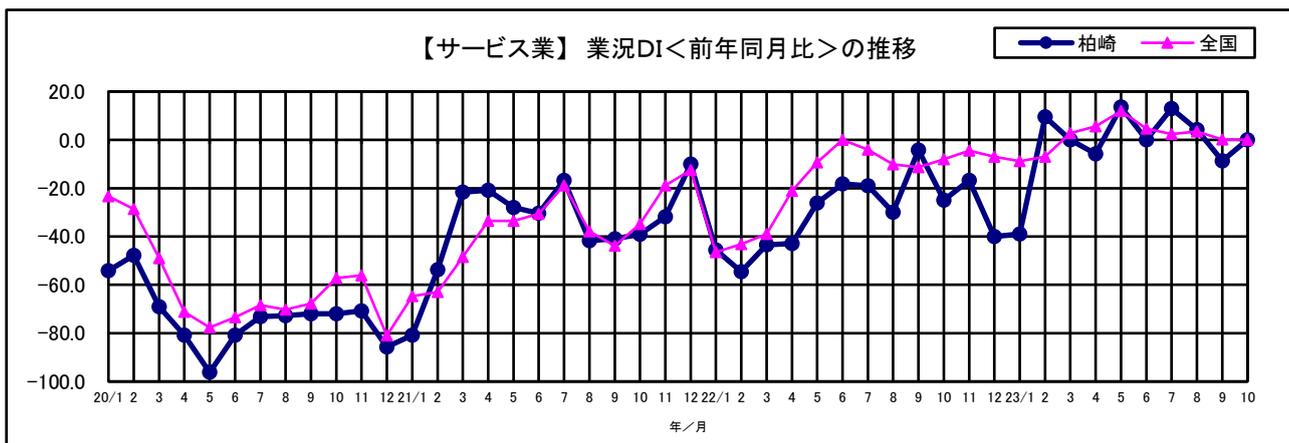
業況DIは2期連続でマイナス域となった。依然として高止まりしている仕入単価DIの影響もあり、採算DIが改善できない状況にあることが業況DIの悪化の一因である。インボイス制度への対応に時間を要したとの声もきかれた。

### <柏崎商工会議所に寄せられた声>

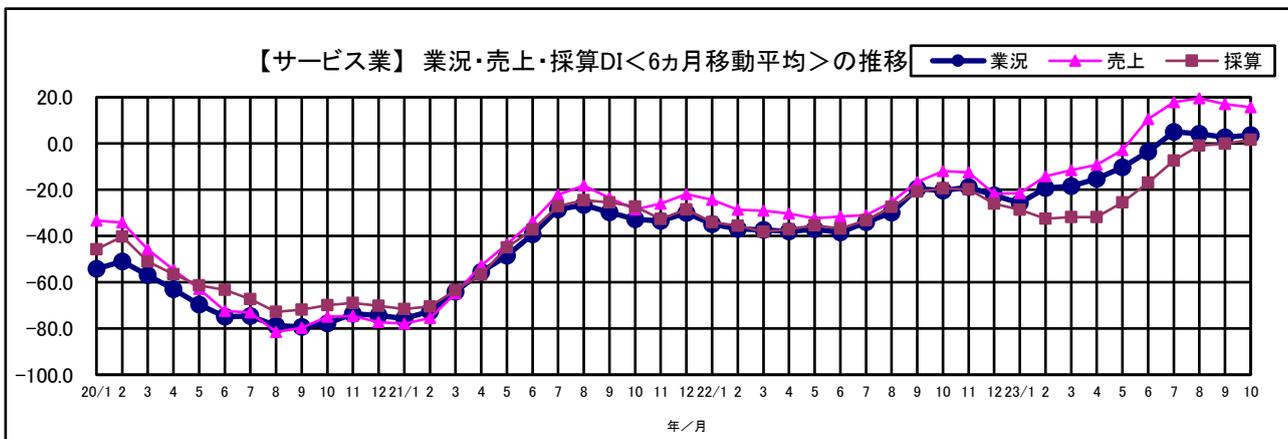
- ・来年のカレンダーや手帳などが売られ始め、無くならないうちに早めに購入する方が多いように思います。
- ・仕入単価の上昇に伴い、なるべくまとめて発送する等、輸送費の削減に努めている。
- ・インボイス制度、今後の電子帳簿保存法への対応に時間を要した。
- ・1名減だった現状に対して人員増加。売上に対して今より見込めるかは不安だが働き方改革によりパートや社員を回していく都合上1名増を決めた。

# 【サービス業】

項目		23年5月	23年6月	23年7月	23年8月	23年9月	23年10月	先行き見通し 11月~1月
業況	柏崎	13.6	0.0	13.0	4.2	▲ 8.7	0.0	0.0
	全国	11.9	4.7	2.4	3.4	0.2	0.0	▲ 9.0
売上	柏崎	13.6	25.0	21.7	29.2	8.7	▲ 4.3	▲ 17.4
	全国	21.6	15.0	16.4	20.2	16.6	16.8	4.2
採算	柏崎	9.1	▲ 4.2	13.0	▲ 4.2	0.0	▲ 4.3	▲ 8.7
	全国	1.9	▲ 6.1	▲ 5.3	▲ 3.8	▲ 4.4	▲ 10.0	▲ 14.2
資金繰り	柏崎	4.5	0.0	8.7	▲ 4.2	4.3	▲ 4.3	▲ 8.7
	全国	▲ 6.4	▲ 10.0	▲ 8.7	▲ 8.7	▲ 9.9	▲ 10.8	▲ 13.4
仕入単価	柏崎	▲ 68.2	▲ 70.8	▲ 64.0	▲ 79.2	▲ 78.3	▲ 73.9	▲ 60.9
	全国	▲ 66.5	▲ 66.0	▲ 63.2	▲ 68.8	▲ 67.9	▲ 65.7	▲ 58.9
従業員	柏崎	18.2	12.5	25.0	16.7	4.3	17.4	8.7
	全国							31.5
資金借入難易感	柏崎	4.5	4.2	0.0	▲ 4.2	4.3	0.0	▲ 4.3



## <移動平均分析(サービス業)>



## 【全国サービス業の動向】

インバウンド需要が回復する中、秋の行楽シーズンも重なり、飲食・宿泊・観光業は堅調に推移する一方、物価高による理容・美容等の生活関連サービスの需要停滞や深刻な人手不足が重荷となり、ほぼ横ばい。

### <日本商工会議所に寄せられた声>

- ・「仕入単価の上昇や電気代の高騰等で経費は増え続けているものの、物価高の中で価格転嫁を行うと来客数が減少してしまうため、価格は据え置いたまま、付随サービスの提案などを行い、売上増加に努めている」(美容業)
- ・「コロナ前の9割程度まで売上は回復したが、最低賃金の引上げに伴う人件費や電気代の高騰による負担増で、採算面での回復には至っていない」(宿泊業)

## 【柏崎サービス業の動向】

売上DIはプラス域からマイナス域へ悪化する中で、従業員DIも不足の数値が拡大し、人手不足感の強い結果となった。総じてトレンド・方向性を示す移動平均分析では、ここ数ヶ月プラス域であるものの、やや水平及び若干の右肩下がりの傾向にある。

### <柏崎商工会議所に寄せられた声>

- ・商工会議所発信で市内での取引が増えるセミナー等が行われると良い。